

# アクアフォームを次世代省エネ住宅に適合すると お得にエコロジー生活



まあ!半額以下!  
助かるわあ~



高気密・高断熱で熱ロスが少ない!  
だから、次世代省エネ住宅にすると  
年間の暖冷房費が旧省エネに比べ、  
なんと!半額以下になります。



## 省エネ性能

年間暖冷房負荷	Ⅲ地域	Ⅳ地域	Ⅴ地域
次世代省エネ住宅	460	460	350
新省エネ基準	680	800	610
旧省エネ基準	1030	1030	1100

単位 MJ/m<sup>2</sup>・年

## 120m<sup>2</sup>(36.3坪)の住宅の 年間暖冷房費用

●エアコンによる暖冷房の場合  
エアコン効率COP4

年間暖冷房費用	Ⅲ地域	Ⅳ地域	Ⅴ地域
次世代省エネ住宅	80,500	80,500	61,300
新省エネ基準	119,000	140,000	106,800
旧省エネ基準	180,300	180,300	192,500

単位 円・年

## 暖冷房エネルギーを CO<sub>2</sub>排出量に変換

●CO<sub>2</sub>排出係数0.555kgCO<sub>2</sub>/kwh

CO <sub>2</sub> 排出量	Ⅲ地域	Ⅳ地域	Ⅴ地域
次世代省エネ住宅	2100	2100	1600
新省エネ基準	3100	3700	2800
旧省エネ基準	4700	4700	5100

単位 kgCO<sub>2</sub>・年

## 地球温暖化防止に 貢献

次世代省エネ住宅は暖冷房費を節約することによって、  
CO<sub>2</sub>の排出量を削減し、地球温暖化防止に貢献します。

注:年間暖冷房負荷の基準値より、各条件でのシミュレーション結果です。  
住まい方、建物条件などによって結果は異なります。

# CO<sub>2</sub>を削減し地球を守る新しい断熱材 アクアフォーム



高気密・高断熱のアクアフォームで断熱した住宅は  
隙間が少なく空気の循環効率が良いので  
余計な暖冷房エネルギーを削減する事ができ、  
CO<sub>2</sub>の排出量を減らす事が可能です。

そこで日本アクアでは  
環境問題への貢献を実感して頂けるよう  
CO<sub>2</sub>排出スリム化計画書の発行を実施しています。



例えばアクアフォームで施工したAさん宅の  
1年間のCO<sub>2</sub>排出量の削減効果は…

比較仕様	Aさん宅	CO <sub>2</sub> 削減量
	4700	● 2100 ● △2600 (約44.6%)

2600[kgCO<sub>2</sub>/年]の  
CO<sub>2</sub>を吸収するのに  
必要なブナの数▶

ブナの木  
1年間で230本分の  
CO<sub>2</sub>を削減できます。

※森林のCO<sub>2</sub>の吸収量は樹齢などにより異なりますが、「ブナ」1本あたり1年間に約11kgの  
CO<sub>2</sub>を吸収するといわれています。  
(森林総合研究所などの資料を参考にしました。)  
※シミュレーション結果によるものです。住まい方、建物条件などによって結果は異なります。

